

＜九州＞ 佐世保工業高等専門学校

*****断り*****

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

佐世保工業高等専門学校 HP : <https://www.sasebo.ac.jp/snct/>

学校要覧 2020 : <http://www.sasebo.ac.jp/~kikaku/yoran/2020youran.pdf>

*アクセス(図は佐世保高専 HP より引用)

〒857-1193 長崎県佐世保市沖新町 1-1



図1 アクセスマップ

*特色(一部文章は佐世保高専 HP より引用)

- ・1962年に国立高等専門学校の第一期校として九州地区ではじめて設立
- ・本科は機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、物質工学科の4学科
- ・専攻科は複合工学専攻として機械工学系、電気電子工学系、情報工学系、化学・生物工学系の1専攻4系に分かれている
- ・平成28年度より「独立行政法人国立高等専門学校機構 サイバーセキュリティ人材育成事業」の第5ブロック(九州・沖縄地区)拠点校に選定され、事業推進に取り組んでいる

*教育目標・教育理念(一部文章及び表は佐世保高専 HP より引用)

教育理念

準学士課程（本科）5年間に亘る一貫教育を通して、ものづくりの基盤を支える技術者に要求される基礎学力と高い専門知識を身につけ、創造性と実践力に富み、豊かな教養と人間性、国際性を備え、社会に貢献できる人材を育成する。専攻科では、他分野の専門的基礎を学ぶ融合型教育を通して、複眼的視野をもつ人材の育成を目指す。

本科の教育目的

- 一 ものづくりや創造する喜びと学ぶ楽しさを早期に知ることを通して、明確な職業意識、学習意欲を養成する。
- 二 高度科学技術を中核となって推進するための基礎知識と基礎技能、専門知識を身につけ、自ら課題を探究し、解決できる能力を養成する。
- 三 実験実習など体験学習を重視して豊かな創造性と実践力を養成する。
- 四 論理的な思考力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を養成する。
- 五 情報技術の進展に対応できるよう、全学科において情報リテラシーを養う。
- 六 豊かな教養と倫理観を身につけ、地球的な視野で人類の幸福のために貢献できる能力を養成する。

一般科目

- 一 人文・社会・保健体育系科目では、心身ともに豊かな人間性と倫理観を養成する。
- 二 理数系科目では、実験・実習の体験的学習を重視し、理論と実践に導かれた創造性と実践力を養成する。
- 三 国語・英語系科目では、国際的に活躍できる技術者としてのコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を図り人間力を養成する。
- 四 専門科目との連携を図り、専門科目学習につなげるための基礎学力・応用力を養成する。

機械工学科

- 一 材料力学・機械力学・熱力学・流体力学という4つの力学科目の習得を通して、機械工学系技術者としての基礎能力を養成する。
- 二 機械工作、機械材料、機構、設計などのものづくり技術関連分野に加え、制御工学や電気・電子工学分野などのメカトロニクス技術関連分野の習得により、機械装置・機械システムの設計開発能力を養成する。

- 三 ものづくりの基盤となる機械製図や機械工作実習，機械工学実験を通して実践力を育み，卒業研究では自学自習能力の向上とともに，総合的な課題解決能力および技術開発能力を養成する。

電気電子工学科

- 一 電気回路や電磁気学などの工学系基礎科目の習得を通して，電気電子系技術者としての基礎能力を養成する。
- 二 電気工学，電子工学および情報通信工学の三分野の幅広い技術を教授し，エネルギー・エレクトロニクス・コンピュータ分野で課題を追及・解決できる能力を養成する。
- 三 電気電子情報工学実験や実習などの実践的学習を通して，計画・遂行・データ解析・工学的考察および説明能力を育み，卒業研究においては技術開発能力を養成する。

電子制御工学科

- 一 情報通信系，電気電子系，機械制御系の基礎科目の習得を通して，電子情報・制御系技術者としての基礎能力を養成する。
- 二 ソフトウェアや電子制御システムの理解を通じて，コンピュータや電子回路技術を応用した自動化システム・ロボットシステム・知能化システムのデザイン能力を養成する。
- 三 情報処理や工学実験などの実験実習を通して実践力を育み，卒業研究では自学自習能力の向上とともに，問題解決能力および技術開発能力を養成する。

物質工学科

- 一 有機化学系，無機化学系，分析化学系，化学工学系および生物工学系の基礎科目の習得を通して，化学・生物系技術者としての基礎能力を養成する。
- 二 物質コースでは機能材料工学などを学習し，生物コースでは分子生物学などの理解を通じて，化学および生物工学領域における課題探究能力を養成する。
- 三 物質化学実験により実践力を育み，卒業研究により自学自習能力の向上とともに，課題解決能力および技術開発能力を養成する。

専攻科の教育目的

- 一 工学の基礎および専門分野に関する知識を教授し，創造性豊かな応用力を養成する。
- 二 地球的視点でものごとを考える素養および能力と，科学技術が自然や社会に及ぼす影響を理解できる人間としての倫理観を養成する。

- 三 日本語による技術的な内容の説明・討論ができる能力と国際社会を意識した英語によるコミュニケーション基礎能力を養成する。
- 四 他の専門技術分野に関する基礎知識と最新の知識を教授し、複合化・高度化した工学分野について複眼的な課題探求能力と問題解決能力を養成する。
- 五 自主的・継続的に学習でき、協調して行動できる能力を養成する。

*3つのポリシー(一部文章は佐世保高専 HP より引用)

本科アドミッション・ポリシー (入学者に求める能力と適性/選抜方針)

■機械工学科

機械工学科では、次のような人材を求める。また、4年次編入学の場合は以下に準じる。

- 1) 自然現象に対して好奇心が強く、ものづくりの好きな人
- 2) 機械に興味をもち、機械に関する専門知識と技術を習得したい人
- 3) 基礎学力を有し、それらを活用して論理的に思考し、表現できる人
- 4) 技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

■電気電子工学科

電気電子工学科では、次のような人材を求める。また、4年次編入学の場合は以下に準じる。

- 1) 自然現象に対して好奇心が強く、ものづくりの好きな人
- 2) 電気電子工学に興味をもち、電気電子工学に関する専門知識と技術を習得したい人
- 3) 基礎学力を有し、それらを活用して論理的に思考し、表現できる人
- 4) 技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

■電子制御工学科

電子制御工学科では、次のような人材を求める。また、4年次編入学の場合は以下に準じる。

- 1) 自然現象に対して好奇心が強く、ものづくりの好きな人
- 2) コンピュータやロボットに興味をもち、情報や電子制御システムに関する専門知識と技術を習得したい人
- 3) 基礎学力を有し、それらを活用して論理的に思考し、表現できる人
- 4) 技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人

■物質工学科

物質工学科では、次のような人材を求める。また、4年次編入学の場合は以下に準じる。

- 1) 自然現象に対して好奇心が強く、ものづくりの好きな人
 - 2) 化学や生物に興味をもち、物質工学に関する専門知識と技術を習得したい人
 - 3) 基礎学力を有し、それらを活用して論理的に思考し、表現できる人
 - 4) 技術者として人類の幸福に貢献したり国際的に活躍したい人
-

○選抜方針（全学科共通）

◇ 推薦による選抜

推薦書及び中学校における調査書並びに面接の結果を総合して選抜する。

◇ 学力検査による選抜

中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜する。学力検査は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科による試験とする。

専攻科アドミッション・ポリシー（入学者に求める能力と適性／選抜方針）

■複合工学専攻

専攻科複合工学専攻では次のような人材を求める。

- 1) 科学と工学の基礎的学力を十分身につけている人
 - 2) 社会性と倫理観を身につける意欲を持っている人
 - 3) 基礎的なコミュニケーション能力を身につけている人
 - 4) 複眼的かつ実践的能力を身につける意欲を持つ人
 - 5) 地域及び国際社会の発展のため、技術者として自主的に行動する意欲を持つ人
-

○選抜方針

◇ 推薦による選抜

入学者の選抜は、在籍学校長から提出された推薦書、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）の総合判定とする。

◇ 学力検査による選抜

入学者の選抜は、学力試験、英語資格試験取得申請書、調査書及び面接の総合判定とする。

◇ 社会人特別選抜

入学者の選抜は、所属長から提出された推薦書、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）の総合判定とする。

本科カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

■一般科目

専門科目学習につながる基礎学力の定着と応用力の養成を目的として、専門科目との連携を図るために、以下の科目群で教育課程を編成する。

- 1) 心身ともに豊かな人間性と倫理観を養成するために、人文・社会・保健体育系科目を編成する。
- 2) 理論と実践に導かれた創造性と実践力を養成するために、実験・実習の体験的学習を重視した理数系科目を編成する。
- 3) 国際的に活躍できる技術者としてのコミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を図り人間力を養成するために、国語・英語系科目を編成する。

■機械工学科

ディプロマ・ポリシーにおいて掲げた能力を育成するために、以下の科目群で教育課程を編成する。

- 1) 一般科目のカリキュラム・ポリシーに記載された、理数系の基礎・応用力、豊かな教養と人間性、国際性を育むための共通基礎科目

機械工学の基礎・専門に関する科目：機械工作法，材料学，情報工学，材料力学，機

- 2) 械力学，熱工学，流体工学，電気・電子工学，制御工学などを基盤とした基礎・専門科目

- 3) 技術修得に関する科目：実践的な機械工学実験，機械工作実習，設計製図，ものづくり総合実習，創作実習などの実技科目

- 4) 課題解決能力育成科目：卒業研究や文献講読，機械工学特別演習，社会人基礎力育成セミナーなど，基礎・専門知識や技術を活用して自ら課題を探索し解決できる能力，自主性や協調性，等を総合的に育成するための科目

■電気電子工学科

ディプロマ・ポリシーにおいて掲げた能力を育成するために、以下の科目群で教育課程を編成する。

- 1) 一般科目のカリキュラム・ポリシーに記載された，理数系の基礎・応用力，豊かな教養と人間性，国際性を育むための共通基礎科目

- 2) 電気電子工学の基礎・専門に関する科目：電気回路，電気機器，電力工学，情報通信工学などを基盤とした基礎・専門科目

- 3) 技術修得に関する科目：実践的な電気電子情報工学実験，電気電子製図演習，情報工学基礎演習などの実技科目

- 4) 課題解決能力育成科目：実技科目や卒業研究など，基礎・専門知識や技術を活用して自ら課題を採求し解決できる能力，自主性や協調性，等を総合的に育成するための科目

■電子制御工学科

ディプロマ・ポリシーにおいて掲げた能力を育成するために，以下の科目群で教育課程を編成する。

- 1) 一般科目のカリキュラム・ポリシーに記載された，理数系の基礎・応用力，豊かな教養と人間性，国際性を育むための共通基礎科目

- 2) 情報学，電気電子工学，機械工学の基礎・専門に関する科目：コンピュータ科学，ネットワーク・セキュリティ，電気・電子，制御・システム，ロボティクスなどを基盤とした基礎・専門科目

- 3) 技術修得に関する科目：実践的な情報システム，ソフトウェア，電気・電子，制御・システムなどの実技科目

- 4) 課題解決能力育成科目：実技科目や卒業研究など，基礎・専門知識や技術を活用して自ら課題を採求し解決できる能力，自主性や協調性，等を総合的に育成するための科目

目

■物質工学科

ディプロマ・ポリシーにおいて掲げた能力を育成するために、以下の科目群で教育課程を編成する。

- 1) 一般科目のカリキュラム・ポリシーに記載された、理数系の基礎・応用力、豊かな教養と人間性、国際性を育むための共通基礎科目

- 2) 物質工学の基礎・専門に関する科目：分析化学、有機化学や無機化学および生物化学、機器分析、有機・無機材料学や応用微生物学などを基盤とした基礎・専門科目

- 3) 技術修得に関する科目：実践的な物質化学実験（分析化学実験、微生物学実験、有機・無機化学実験、物理化学実験、化学工学実験、化学機器実験）、材料化学実験、生物化学実験などの実技科目

- 4) 課題解決能力育成科目：実技科目や卒業研究など、基礎・専門知識や技術を活用して自ら課題を探索し解決できる能力、自主性や協調性、等を総合的に育成するための科目

これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとするが、科目等によっては、レポート等の評価結果により認定する。授業科目の成績は、下記の【基準】により評価する。

【基準】

評価（点数）	基準（到達レベル）
A（80点-100点）	十分に満足できる到達レベル
B（70点-79点）	標準的な到達レベル
C（60点-69点）	単位取得可能な最低限の到達レベル

D (60 点未満)

単位取得不可の到達レベル

専攻科カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

■複合工学専攻

ディプロマ・ポリシーにおいて掲げた能力を育成するために、高度科学技術の中核を担う専門職業人としての教養と専門基礎知識を有する技術者の養成を以下の内容で行う。

- 1) 理数系の基礎・応用力，豊かな教養と人間性，国際性を育むための数学（数理科学）や一般化学などの共通基礎科目および現代物理などの専門基礎科目

地球的視点と技術者倫理に関する科目：日本語表現法，総合英語，応用コミュニケーションなどの語学教育により国際的に通用するコミュニケーション能力を養う科目。

- 2) 産業経済と技術者倫理，環境論，国際関係論などにより地球的視野で技術と社会の共生を追求しグローバルな視点をもつ技術者を育成する科目

- 3) 課題解決能力育成科目：技術者総合ゼミ，総合創造実験，総合創造演習などにより4つの系の専門分野をコラボレートし，システム創成能力と複眼的な問題解決能力を養う複合科目。特別研究などにより，基礎・専門知識や技術を活用して自ら課題を探求し解決できる能力，自主性や協調性，等を総合的に育成するための科目

- 4) 各工学系および産業数理技術者育成プログラムの，基礎・専門に関する知識と技術を習得する専門科目

これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとするが，科目等によっては，レポート等の評価結果により認定する。授業科目の成績は，下記の【基準】により評価する。

【基準】

評価（点数）	基準（到達レベル）
A（80点-100点）	十分に満足できる到達レベル

B (70 点-79 点)	標準的な到達レベル
C (60 点-69 点)	単位取得可能な最低限の到達レベル
D (60 点未満)	単位取得不可の到達レベル

本科のディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）

■機械工学科

機械工学科は、機械工学系分野の技術者に必要な基礎知識と専門知識、技術の習得に加え、人文社会系の素養も身につけ、自ら学び考え、課題を解決する創造性豊かな実践力のある人材を育成するため、本校に在籍し、以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

<修得する能力>

- 1) 材料力学，機械力学，熱工学，流体工学，機械工作法，メカトロニクス等を活用して，自ら課題を採求し解決できる基礎能力
- 2) 機械工作実習，機械工学実験，社会人基礎力育成セミナー等の実技科目や卒業研究などを通じて養成される創造性と実践力
- 3) 業務遂行に必要な論理的な思考力，情報リテラシー，コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力
- 4) 豊かな教養，倫理観，及び地球的な視野を元に人類の幸福のために貢献できる能力

■電気電子工学科

電気電子工学科は、電気・電子系分野の技術者に必要な基礎知識と専門知識、技術の習得に加え、人文社会系の素養も身につけ、自ら学び考え、課題を解決する創造性豊かな実践力のある人材を育成するため、本校に在籍し、以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

<修得する能力>

- 1) 電気回路や電磁気学などの工学系基礎科目の習得を通して得られる，電気工学，電子工学に関する幅広い技術を活用して，自ら課題を採求し解決できる能力

- 2) 電気電子情報工学実験等の実技科目や卒業研究などを通じて養成される創造性と実践力
- 3) 業務遂行に必要な論理的な思考力, 情報リテラシー, コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力
- 4) 豊かな教養, 倫理観, 及び地球的な視野を元に人類の幸福のために貢献できる能力

■電子制御工学科

電子制御工学科は, 情報通信系, 電気電子系, 機械制御系分野の技術者に必要な基礎知識と専門知識, 技術の習得に加え, 人文社会系の素養も身につけ, 自ら学び考え, 課題を解決する創造性豊かな実践力のある人材を育成するため, 本校に在籍し, 以下のような能力を身に付け, 所定の単位を修得した学生に対して, 卒業を認定する。

<修得する能力>

- 1) ソフトウェア, コンピュータおよび電子制御技術等を理解し, それらを応用して自動化システム・ロボットシステム・知能化システムをデザインし, 自ら課題を探求し解決できる能力
- 2) 情報処理や工学実験などの実験実習の実技科目や卒業研究などを通じて養成される創造性と実践力
- 3) 業務遂行に必要な論理的な思考力, 情報リテラシー, コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力
- 4) 豊かな教養, 倫理観, 及び地球的な視野を元に人類の幸福のために貢献できる能力

■物質工学科

物質工学科は, 化学および生物系分野の技術者に必要な基礎知識と専門知識, 技術の習得に加え, 人文社会系の素養も身につけ, 自ら学び考え, 課題を解決する創造性豊かな実践力のある人材を育成するため, 本校に在籍し, 以下のような能力を身に付け, 所定の単位を修得した学生に対して, 卒業を認定する。

<修得する能力>

- 1) 化学や生物に関する基礎知識や、素材開発やエネルギー・環境問題への対応力あるいは生命工学に関する知識・技能を活用して、自ら課題を探求し解決できる能力
- 2) 物質化学実験等の実技科目や卒業研究などを通じて養成される創造性と実践力
- 3) 業務遂行に必要な論理的な思考力、情報リテラシー、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力
- 4) 豊かな教養、倫理観、及び地球的な視野を元に人類の幸福のために貢献できる能力

専攻科のディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）

■複合工学専攻

複合工学専攻は、グローバル化した社会において、高度化、複合化した工学分野の諸問題を解決して「もの創り」を行うために、各専門分野（機械工学、電気電子工学、情報工学、化学・生物工学）について深い専門性を養いつつ、先進的な他の専門分野の知識と技術も身につける複合的な教育を行うことにより、複眼的な問題解決能力を備えた創造性豊かな、世界に通用する「もの創り技術者」を育成する。このような人材育成を達成するために、本校に在籍し、所定の単位を修得し、かつ、以下のような能力を身につけた学生に対して、修了を認定する。

- (A) 工学の基礎および専門分野に関する知識を身につけ「もの創り」に応用できる。
- (B) 地球的視点でものごとを考える素養および能力と、科学技術が自然や社会に及ぼす影響を理解できる人間としての倫理観を有する。
- (C) 日本語による技術的な内容の説明・討論ができ、更に国際社会を意識した英語によるコミュニケーション基礎能力を有する。
- (D) 他の専門技術分野に関する基礎知識と最新の知識を身につけ、複合化・高度化した工学分野について複眼的に課題探求や問題解決ができる。
- (E) 自主的・継続的に学習でき、学内外の人々と協調して行動できる。

*JABEE(リンクは佐世保高専 HP より引用)

- [JABEE 認定教育プログラム「複合型もの創り工学」](#)
- [学習・教育到達目標](#)
- [履修規程と修了要件](#)
- [カリキュラムと科目系統図](#)
- [教育点検・改善システム](#)
- [教員間連絡ネットワーク組織](#)
- [本プログラムに関するアンケート結果](#)
- [総合試験実施要領](#)

*入試形態(URL は佐世保高専 HP より引用)

[令和3年度学生募集要項](#)

[令和3年度編入学生募集要項](#)

[令和3年度専攻科学生募集要項](#)

*試験状況及び偏差値や倍率(URL は佐世保高専 HP より引用)

偏差値 66

[本科の入学志願者の状況](#)

[専攻科の入学志願者の状況](#)

*卒業後の進路状況(URL は佐世保高専 HP より引用)

[本科卒業後の進学・就職状況](#)

[専攻科修了後の進学・就職状況](#)